

**製品名: Cdk8 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87513**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:53 kDa; Observed MW:53 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Cdk8
別名	K35; IDDHBA
遺伝子 ID	1024
SwissProt ID	P49336
免疫原	ヒト Cdk8 の組み換えタンパク質

**背景**

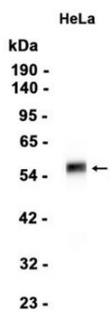
この遺伝子は、サイクリン依存性プロテインキナーゼ（CDK）ファミリーのメンバーをコードしています。CDKファミリーのメン

バーは、細胞周期の進行において重要な調節因子として知られています。このキナーゼとその調節サブユニットであるサイクリン C は、メディエーター転写調節複合体の構成要素であり、RNA ポリメラーゼ II の最大サブユニットのカルボキシ末端ドメインのリン酸化による転写の活性化と抑制の両方に関与しています。このキナーゼは、転写開始因子 IIH のサイクリン依存性キナーゼ 7 サブユニットを標的として転写を制御し、メディエーター複合体と基礎転写機構を結び付けています。この遺伝子には複数の偽遺伝子が同定されています。選択的スプライシングによって、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016 年 10 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Cdk8 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。